



道徳だより

12月号

南砺市立井波中学校

令和4年12月21日発行

★今年を振り返ってみませんか？★

道徳教育や道徳だよりへのご意見やご感想、道徳性検査に対するお子様への温かいお言葉をありがとうございました。

2学期は今週で終わります。来学期は、3年生はいよいよ受験が始まり、1、2年生は次の学年に向けての準備期間となります。この冬休みに、道徳の授業についても振り返りを設けてみてほしいと思います。

さて、今月号は、保護者の皆様からのコメントを中心に紹介します。

★道徳性検査の保護者コメントより★

保護者のコメントより一部抜粋して紹介します。

自分と全く同じ考え方の人はいません。意見が違ふときは、相手の立場になって「自分ならどうするかな？」と考えられるといいですね。

つらいことがあっても、悪い面ばかりを考えるのではなく、よい面も考え、物事を前向きに考える人になってもらいたいと思います。

これから生きていく中で苦しい経験や挫折することがたくさんあると思います。そのときに、「どうせ頑張っても無理だ」とすぐあきらめてしまうのではなく、つらい経験をしたからこそ、他人がつらいときに相手の気持ちをわかってあげられる人間になるチャンスととらえて、失敗することがあったとしても、前向きにとらえてほしい。



教科の学習と異なり必ずしも“正解”がない問いに向き合っ、大切な事について感じたり考えたりする時間はとても大事だと思います。

★写真で振り返る2学期の道徳★



★保護者の皆様からの感想より★

11月号に引き続き、保護者の皆様のご意見、ご感想を一部紹介します。

生徒たちが新たな見方や考え方に気づいたり、考え方が変わったりしたことがある回答が多い中、保護者が子供の学習内容をほとんど知らない結果となっていました。保護者は、もっと関心をもつべきだと思いました。

道徳の教科書は、誰でも経験したことがあるような非常に身近な題材が多く、どれも考えさせられるものばかりです。自分自身を振り返ると、子供の頃に学校の先生方から人間性を高める言動や行動について教え続けていただいたことが、私の考え方の基となっていることに気付かされます。思春期真っ只中の子どもたちには、素直に受け入れられないこともあると思いますが、今こそ学校だけではなく、私たち保護者が、子どもの気持ちに寄り添い認めながら、根気よく徳を積むことの大切さを伝えていかなければならない時なのだと感じます。徳を高めることは、生活の質、人生の質を高めると私は考えます。何年経っても、井波中学校は徳を積む学校であり続けることを願います。

キリトリ

道徳だより12月号 返信

(年 お名前

)

